



田中 京子 議員

復興に向けた 取り組みについて

問 子どもの健康について、放射能の影響により、子ども達が外で遊べない状況であるが、屋内遊び場を設置する考えがあるかどう。

答 放射能の不安から十分な屋外活動ができないことにより、子どもたちが運動不足やストレスを抱えていることが懸念される。施設等については、関係者と協議しているところですが、状況を見ながら保護者からの要望を踏まえた上で、設置する際には民間施設の活用も視野に入れて検討を重ねてまいりたい。

問 相馬野馬追について開催方法と野馬懸について伺う。

答 平成24年度の相馬野馬追については、相馬野馬追執行委員会において、開催とすることを決定されました。



仮設住宅で遊ぶ子ども達 (原町区牛越)

ただし野馬懸については現在開催場所が警戒区域内にあることから、国が予定している区域設定の見直し・除染状況を見据えながら五月末までに判断する方針である。

問 通年型の相馬野馬追関連誘客方法について、年間を通しての誘客方法について伺う。

答 乗馬・甲冑の着付け、法螺貝・民謡などの体験プログラムを計画しており、復興支援

ツアーのメニューに盛り込むほか、文化財や史跡、博物館などを線で結ぶ観光ルートマップを作成する。更には、関連施設等の観光ボランティアガイドを育成活用し、通年観光の誘客の推進を図る考えである。

質問を終えて

1. 知恵は、宝なり。
2. スピードは、力なり。
3. タイミングは、効き目なり。今この時!

その他の質問

- 1 防災集団移転事業の進捗状況について
- 2 市内産野菜の安全性と地産地消について
- 3 市内医療機関の状況と方向性について



大山 弘一 議員

「命優先」に なっていない!

問 「放射能防護原則」いち早く隔たりを持つ考えと市長や児玉氏の居留させ曝させること、スクールバスや学校再開は人命軽視だ。

答 「除染終了。安全宣言で帰還が道理」

「大掃除中の調理は言語道断」

「1ミル指す」は詭弁。成人は1日2万ℓ呼吸。1gー千Bq相当の黒い藍藻の吸入が危険。外部被曝シーベルトより内部被曝ベクレルが問題だ。早急に回収する基準を作り対処してもらいたい。

答 必要があれば当然、除去する。子供達の生活環境を守る。

問 南相馬市の最大の損害はこれから100年、海・山・川、空気・水・土、人間の寿命に与える実害だ。危険を正確に調べ、避難も補償も

要求する「賠償補償市民会議」の立上げと仮払保証金の見舞金化について。

答 民事不介入だが許される限りサポートする。不返還は既に要望済み。

問 3月12日、避難指示とともに小高区から本庁に安定ヨウ素剤が持ち込まれ14日に避難所に対し配布算段が整ったが、結果、配布

されなかった。14日11時の3号機爆発や15日の2号機、4号機の爆発や20日の煙にも間に合ったのではないかなぜそれ以降、避難所や避難者に配布しなかつたのか。

答 3号機爆発や火災などや市民の避難などで混乱、対応が間に合わなかった。

質問を終えて

3/15 屋内退避指示中バス移送。3/25、30km圏内避難拒否。4/22 避難計画無く避難準備区域受容・通学バス運行。9/30 区域解除受容。

その他の質問

- 1 「ガラスパッジ」について
- 2 「ソーラーパネル」10割補助について

空間線量の高い所から「除染計画」通り! 必要があれば除去するよ。 By 市長

内部被曝が心配!

北長野	109万Bq
北町	25万Bq
総合病院	27万Bq
大木戸	51万Bq
馬場	73万Bq
新小川橋下	106万Bq
榑原	343万Bq

「黒い藍藻」除去問題



但野 謙介 議員

住宅供給を通じて 人材不足解消を

問 住宅需要の見直しと市内の未利用住宅の活用策について伺う。

答 利用されていない住宅については、住宅に携わる各団体と現状分析と今後の必要戸数について協議会的な場で精査していきたい。

問 評価額の下落により不動産取引が滞っているが対応策を伺う。

答 状況を調査し、検討していきたい。

問 平成23年の国民健康保険の医療費について伺う。

答 22年度と比べ大幅に増加。全体で25.7%の増加、一人当たりで16.8%増加している。

問 震災後の医療費の伸びの一方、市内医療機関の経営は厳しい状況が続いている。

医療費総額は人口減少により減少する中、どのような医療体制を

構築していく考えか。

答 当初の医療崩壊状況からは回復しつつある一方でスタッフは不足している状況だ。急性期の機能は堅持していくが、まだ十分な体制にはなっていない。休院に追い込まれている病院もあるが、震災前の状況に戻していく考え。

問 人口が減少する中、医療体制の大前提が崩れている。どう再構築する考えか伺う。

答 原発事故により医療機関は崩壊状況に追い込まれた。回復傾向にあるが、将来的には平成32年に6万人程度の人口に合わせた医療体制を構築していく。



鹿島区寺内地内の仮設住宅・市営住宅

質問を終えて
何を元に戻し、何を再構築していくのか。将来を見据えた議論になるよう苦心しました。

その他の質問
① 税収の減少を踏まえ、中長期の財政をいかに運営していくか。



志賀 稔宗 議員

仮設住宅に 物置の設置を

問 仮設住宅の生活環境向上のため物置の設置、浴槽の追い炊き設備、結露対策、外灯補充等の設備充実や一部屋二名の窮屈な基準の見直し、ペット連れ世帯の入居待ち短縮等更なる改善が待たれている。

答 仮設住宅の生活環境向上のため物置の設置、浴槽の追い炊き設備、結露対策、外灯補充等の設備充実や一部屋二名の窮屈な基準の見直し、ペット連れ世帯の入居待ち短縮等更なる改善が待たれている。

問 入居基準の見直しや住宅内外の整備によりもう一段の向上を図る必要があると思うが。

答 入居開始から十ヶ月が経過し入居期間が長期化することが想定される。当初設定の入居基準では現状にそぐわない世帯もあることから入居者の状況に合わせて調整している。指摘の要望を含め自治会を通して再度要望を集約し早急な対応を具に要望する。

問 警戒区域内において放射線量、水道、医療等、どの程度まで回復すれば帰還できる環境と考えるのか。

答 日常生活に必要なインフラが復旧、医療介護等の生活関連サービスが概ね復旧、子供の生活環境を中心とする除染作業が十分に進捗することとされており、これら条件が整えば帰還可能になると考える。

問 現在年間20 μ svに近い場所は除染で半減しても住めない。一般に5 μ svを超えれば放射線管理区域として一般の立入りが禁止されるレベルだ。心配のないレベルまで充分下がることが帰還の環境だが。

質問を終えて
新生の春を告げよう！
踏まれても踏まれてもわれらは負けない！やがて勝利の春は必ず。

その他の質問
① 介護施設利用自己負担の軽減策の継続を
② ヨウ素剤の事前配布と防災対策の強化
③ 小高スマートインター設置で復興に勢



高見町第1仮設住宅（原町区）